

ごのへ 議会 会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
令和5年1月
第46号

第28回定例会(令和4年12月定例会)

第27回臨時会・第28回定例会……………	2
所管事務調査……………	13
一般質問(5人)……………	5
県外行政調査研修……………	10
議員インタビュー……………	14
議員活動報告・編集後記……………	16

五戸町が飛躍する令和5年へ



倉石又重館町地区の館町神楽舞
町の無形文化財である館町神楽舞。町民皆様の無病息災と
コロナ禍終息を願って祈禱が行われました。

第27回 令和4年10月 臨時会

10月18日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

令和4年度補正予算 1件

① 一般会計補正予算 (第5号)

・補正額(増額)

2億1024万円

・予算総額(補正後)

99億403万1千円

【主な内容】

・うまっこ商品券購入費 (マイナンバーカード普及促進)
1000万円



マイナンバーカード取得者へ交付

・物価高騰対策地域振興券発行事業費補助金

5025万円

・非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金

1億2350万円

・五戸町燃料等高騰対策補助金

1048万円

審議の結果

全員賛成で可決

議会提出案件

決議 1件

① 北朝鮮による弾道ミサイル発射に対して断固抗議する決議

【内容】

・令和4年10月4日に青森県上空を通過した弾道ミサイルを放った北朝鮮へ断固抗議するとともに日本政府に厳格な対処を求めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

町長提出案件

報告 1件

① 町道倉石南線で発生した道路上の舗装劣化による車両物損事故の損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

損害賠償額
8万7千9百円
(町過失割合30%)
(報告は採決しません)

町道の路線認定 1件

① 町道の路線認定について

【内容】

・地域住民の生活基盤として重要な路線であるため認定するもの
○銀杏木線
○天満後四号線
○竹原団地一号線
○竹原団地二号線

審議の結果

全員賛成で可決



竹原団地二号線



竹原団地一号線



天満後四号線



銀杏木線

第28回 令和4年12月 定例会

12月8日から12月13日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 21件			
原案可決	同意	承認	認定
21件	0件	0件	0件

条例の一部改正 9件

①五戸町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

【内容】

・五戸町議会議員の期末手当の支給割合を改めるもの

②五戸町議会議員及び五戸町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

【内容】

・選挙運動の公営に要する経費の公営単価を改めるもの

③五戸町印鑑条例の一部改正

【内容】

・令和5年3月1日から運用を開始するコンビニエンスストアでの印鑑証明書発行について、所要の改正を行うもの

条例の一部改正③
に対する質疑

問 豊田孝夫議員

マイナンバーカードの提示で印鑑証明書のコンビニ交付が可能になるが、これまで提示してきた印鑑登録の今後の扱いと、今後の証明手数料は。

答 赤坂住民課長

印鑑証明書発行の際、コンビニではマイナンバーカードを提示していただくが、住民課及び各支所窓口においては従来通り印鑑登録の提示でも可能。手数料はコンビニ・窓口ともに300円。



マイナンバーカードを用いた印鑑証明書等のコンビニ交付サービスが令和5年3月1日に開始予定

④五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正

【内容】

・町長等の期末手当の支給割合を改めるもの

⑤五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

【内容】

・特別参事の期末手当の支給割合を改めるもの

⑥五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

【内容】

・令和4年10月11日付けの青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、職員の給料表、勤奨手当の支給割合を改めるもの

⑦五戸町職員の定年等に関する条例等の一部改正

【内容】

・地方公務員法の改正に伴い、段階的な定年の引上げ、役職定年制の導入など、関係する条例について所要の改正を行うもの

⑧地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理

【内容】

・地方公務員法の改正に伴い所要の改正を行うもの

⑨五戸町道路占用料徴収条例の一部改正

【内容】

・道路法施行令の改正により国の道路占用料が令和5年4月に改定されることに伴い、町の道路占用料について適正な料金に改めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

令和4年度補正予算 11件

①一般会計補正予算 (第6号)

補正額(増額)

1億7126万4千円
 予算総額(補正後)
 100億7529万5千円
 【主な内容】
 ・企業立地条例奨励補助金
 493万4千円

・非課税世帯経済支援商品券発行事業費補助金 615万5千円
 ・町有林育成業務委託料 △275万1千円
 ・ふるさと納税システム運営管理業務委託料 2935万4千円
 ・ふるさと納税寄附基金積立金 4270万円
 ・国保会計繰出金 2349万4千円
 ・介護保険特別会計繰出金 △479万1千円
 ・社会福祉センター指定管理料 160万6千円
 ・保健福祉センター指定管理料 80万3千円
 ・子どものための教育・保育給付費 2381万7千円
 ・医師派遣事業費負担金 442万4千円
 ・浄化槽事業特別会計繰出金 △539万8千円

・森林環境譲与税基金積立金 402万円
 ・橋梁補修工事費 252万8千円
 ・下水道事業特別会計繰出金 △342万5千円
 ・ひばり野公園指定管理料 77万3千円
 ・管内小学校光熱水費 308万7千円
 ・管内小学校施設改修工事費 106万2千円
 ・管内中学校光熱水費 511万6千円
 ・管内中学校施設改修工事費 220万6千円
 ・中学校体育大会等出場交付金 200万円



©東京ハイジ/五戸町

・歴史みらいパーク指定
管理料
539万5千円

・社会体育施設指定管理
料
327万1千円

・賄材料費
174万4千円

補正予算①に 対する質疑

問 鈴木隆也議員

賄材料費補正の内容は。

答 高嶋教育課長

給食提供に当たる食材
の調達経費であり、物価
高騰による予算不足分を
補正するもの。

問 鈴木隆也議員

10月から今年度中、給
食費の無償化を行っている
が、来年度もこの無償
化は継続されるのか。そ
うでなければ、来年度の
保護者負担額は物価高騰
により増額となるのか。

答 高嶋教育課長

現在、無償化は令和5
年3月までの予定であり、
令和5年度からは再度保

護者負担となる見込み。

給食費の値上げについ
ては学校給食運営審議会
の議論を経ての判断とな
る。値上げとなるかどう
かはこれからの検討課題。



② 後期高齢者医療特別会 計補正予算(第1号)

・補正額(増額)
2199万3千円

・予算総額(補正後)
5億679万6千円

【主な内容】

・一般会計繰出金
1465万9千円

③ 国民健康保険特別会 計補正予算(第2号)

・補正額(増額)
3657万1千円

・予算総額(補正後)
21億1583万6千円

【主な内容】

・財政調整基金積立金
3266万6千円

④ 介護保険特別会計補正 予算(第3号)

・補正額(増額)
2600万7千円

・予算総額(補正後)
24億4727万8千円

【主な内容】

・過年度分返還金
2004万5千円

⑤ 下水道事業特別会計補 正予算(第2号)

・補正額(減額)
84万9千円

・予算総額(補正後)
3億4783万9千円

【主な内容】

・光熱水費
31万円

・消費税及び地方消費税
△183万5千円

⑥ 農業集落排水処理施設 事業特別会計補正予算 (第2号)

・補正額(増額)
17万4千円

・予算総額(補正後)
1億4666万4千円

【主な内容】

・光熱水費
97万9千円

・消費税及び地方消費税
△110万5千円

⑦ 浄化槽事業特別会計補 正予算(第1号)

・補正額(減額)
38万8千円

・予算総額(補正後)
4895万5千円

【主な内容】

・一般職給
10万円

・消費税及び地方消費税
△119万9千円

⑧ 簡易水道事業特別会計 補正予算(第1号)

・補正額(増額)
147万1千円

・予算総額(補正後)
9618万8千円

【主な内容】

・光熱水費
175万2千円

・消費税及び地方消費税
△91万8千円

⑨ 住宅用地造成事業等特別 会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)
102万8千円

・予算総額(補正後)
1642万6千円

【主な内容】

・一般会計繰出金
102万8千円

⑩ ケーブルテレビ事業特別 会計補正予算(第1号)

・補正額(増額)
94万7千円

・予算総額(補正後)
2940万円

【主な内容】

・ケーブルテレビ事業基
金積立金
94万7千円

⑪ 病院事業会計補正予算 (第4号)

○収益的支出
1008万7千円減の
27億9382万5千円

【主な内容】

・職員の会計間異動や退
職等による給与費の減
額、光熱水費や感染性
廃棄物処理業務委託料、
医師紹介業務委託料等
の追加によるもの

○資本的収入
300万円減の
3億9738万2千円

【主な内容】

・国保特別会計繰入金の
減額によるもの

○資本的支出
523万6千円増の
6億1770万6千円

【主な内容】
・病院備品費の追加によ
るもの

補正予算①に 対する質疑

問 中川原賢治議員

収益的支出の、医師紹
介業務委託料の内容は。

答 松坂病院事務局長

大学、病院からの医師
派遣が困難な状況におい
て、医師を紹介する民間
の業者に委託して医師の
確保を図るもの。委託料
は、月額の基本料金及び
医師確保の際の成功報酬
となっており、常勤医師
1名及び非常勤医師3名
と仮定して積算している。



©東京ハイジ/五戸町

審議の結果

全員賛成で可決

一般質問



かしわだ ただのり 議員
柏田 匡智

質問①

五戸台地の現状、課題について。

答 若宮町長
五戸台地は管内に9工区、新郷村に4工区の計13工区あり、総筆数313筆、総面積183万2093㎡となっている。その内、町が所有するほ場は73筆、面積は42万4251㎡で、そのほ場の賃貸借及び維持管理を行っている。11月末現在で貸付しているほ場は61筆で、12筆の未貸付がある。未貸付の理由としては、ほ場の湿害や不整形地、支障木により日陰となっていることが挙げられる。

◆ほ場の湿害対策として有効な暗渠排水対策の補助事業は

町長 国の事業として農地耕作条件改善事業がある



ほ場の水はけの悪さは、作物への湿害や、土が柔らか過ぎて機械作業ができないなどの問題につながる

答 若宮町長

国の事業として、農地耕作条件改善事業がある。意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えることが必要なため、農地の畦畔除去等による区画拡大や、暗渠排水整備などにより耕作条件を改善し、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の加速を支援することで農業競争力の強化を図ることを目的としている。

主な事業内容は暗渠排水施設の新設、変更が対象となり、「1地区当たり事業費200万円以上及び受益面積20ヘクタール以上」が採択要件となっている。

補助率の割合は国55%、県27・5%、町

質問③



長芋畑の穴落ちの様子
生育不良・品質低下につながる

暗渠排水対策補助事業を進めるに当たり、農家の方々への周知、検討方法について。

答 小保内建設整備課長
各工区の代表者で構成されている「五戸台地営農推進協議会」がある。事業で造成された農地・施設の維持管理・運営を行っているため、各工区

及び農業者17・5%で、事業主体は県となる。

の代表者を通し、農家へ周知を図り、いただいた意見を基に協議会において検討していく。

質問④

五戸台地の今後の方向性について。

答 若宮町長

令和4年4月から借地料単価を普通作物10アールあたり1万5千円から1万円に、牧草等の飼料作物を7千円から5千円に見直している。今後未貸付地の解消を図るため、ほ場状態や農業情勢を考慮しながら借地料を見直していく。また未貸付ほ場の耕起を定期的に行い、支障木を伐採するなど適切に管理していく。



©東京ハイジ/五戸町

用語解説

ほ場(圃場)

田畑や樹園地のような作物栽培のための農地。

湿害

農作物が土壌水分過多によって受ける被害。

不整形地

きれいな正方形・長方形に整えられていない土地。機械作業の効率低下につながる。

支障木

枝などが張り出して道路や農地等に影響を及ぼしている樹木。

穴落ち

長芋の作付けの際に芋の生育のために耕して柔らかくした土が、雨によって沈下すること。芋も固い所へ落ちてしまうため、生育しにくくなる。

暗渠(あんきよ)

地下に埋設した水路。水はけが悪い農地の地中深くに土管などを埋めて排水を促す。

12月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆五戸のちからを五戸のちから世界へ未来へ発信し、
五戸町民一人ひとりの命輝く地宝自治体を建設するためには

町長 五戸町を盛り上げ、広く発信するよう取り組んでいく



©東京ハイジ/五戸町

五戸高校も現在具体的な跡地利用の施策はない状況だが、民間企業による活用や東川町立東川日本語学校の事例も参考に、活用方法について調査・研究していく。

質問①

五戸町は、千葉県いすみ鉄道のように、旧南部鉄道の駅名を入れたグラスを作り、おんこちゃんグッズと共に広域で販売する考えはないか。

答 若宮町長

千葉県はいすみ鉄道は、路線の維持PRの一環でグッズを製作しており、沿線グラスはその一つ。東京の企業が製作し、オンラインショップでも販売しているが、廃線となった路線のグッズを同様に展開できるかは今後検討する。

町内には、金型を得意とする企業や染物業者が

あるため、鉄・ステンレス加工商品や、Tシャツ・タオル等を展開してのPRもできるのではないかと考えている。



いすみ鉄道沿線グラス

旧南部鉄道駅名

- 五戸駅
- 県立種鶏場前駅
- 志戸岸駅
- 豊崎駅
- 七崎駅
- 正法寺駅
- 張田駅
- 尻内駅



質問②

町の公用車におんこちゃんカーマグネットを貼る考えはないか。

答 若宮町長

令和2年度に作成し公用車に貼っていたが、車両の整備等の際に外し、その後貼り忘れとなっていた。再度貼り付けを行い、また、車両の左右両面に貼り付けられるよう不足分のマグネットを作成したい。



おんこちゃんカーマグネット

質問③

ひばり野運動公園のテニスコートとクレーコートからオムニコートにする考えはないか。

答 若宮町長

ひばり野公園には土のクレーコートが4面と、人工芝のオムニコートが3面ある。クレーコートについては整備の点や降雨後の使用制限の点から、オムニコートへの改修を要望する声をいただいている。



ひばり野公園テニスコート
人工芝のオムニコート(手前)
土のクレーコート(奥)

質問④

五戸高校跡地に北海道東川町のような日本語学校を造るといった考えはないか。

答 若宮町長

現在、令和5年度の国の事業を活用したオムニコートへの改修工事を国へ要望している。11月実施の青森県のヒアリングではおおむね了解を得ており、現在は国の返事を待っている状況である。

質問⑤

本年、倉石地区の高村実俊さん一家がモンゴルで28年前の「約束」実現で大統領と再会した。町はこのことを機にモンゴルと交流していく考えはないか。

答 若宮町長

今年には日本とモンゴルの国交樹立50周年であり、次の50年に向けての絆・礎を作る年としている。五戸町としてもモンゴルの文化の理解と子どもたちによる交流の機会を設けられないか、町の国際交流協会等と連携して取り組んでいきたい。

◆立地適正化計画は今後の“要” 空き家は「住宅ストック」。整理と利活用を。

町長 来年度から空き家調査を実施する予定



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

※「五戸町立地適正化計画」

主に五戸町の中心地を対象とし、【都市機能誘導区域】【居住誘導区域】を定め、今後長い時間をかけて住民や商店、企業などをこの区域に集めて、将来的に町として存在できるだけの人口密度を維持する計画。

質問①

「五戸町立地適正化計画（※）」の案が策定され、令和4年11月にパブリックコメントの募集が実施された。このパブリックコメントはどのような方法で周知され、何件のご意見を頂いたのか。

答 若宮町長

頂いたご意見は3件あり、今後の検討に活用させていただきます。周知の方法は役場や公民館などの公共施設で資料を閲覧できるようにしたほか、町のケーブルテレビやホー

ムページ、SNSなどを活用して周知を図った。

質問②

私がこのパブリックコメントの募集を知ったのは、募集期間の終了直前だった。過去の案件では自治会に回覧板で周知されたことがあり、すぐに知ることができたが、今回それがなかったのは何故か。

答 高谷都市計画課長

パブリックコメントの実施方法については町では特に規定を定めていない。今後は周知方法について工夫していきたい。

質問③

立地適正化計画は少子高齢化に直面する地方自治体にとって、まさに要となる重要な計画になる。しかし今後さらに深く検討が進むと解決困難な課題が出てくると予想される。現段階でどのような課題を想定しているか。

答 若宮町長

この計画で設定する誘導区域は強制的に人を集めるものではないため、町民の皆様に広く周知し、ご理解を頂くことが最も重要と考える。これを実現するのが最も難しいため、様々な方法を考えたい。また、誘導区域内にある空き家対策も問題になるため、県や国の制度を活用しながら対策を進めていく。

質問④

町内で事業を始めたい方のために、商店街の空き家調査を行ったところ、何件か所有者不明の建物や、持ち主が亡くなっているのに町の固定資産税課税台帳が更新されていない土地がいくつか見つけた。こういった資産に対する対処はどのような予定か。

答 高谷都市計画課長

来年度早々に空き家の調査を実施し、所有者の

分かっている空き家については意向調査等を行った上で計画に反映し、所有者不明の空き家につきましては、必要に応じて国の補助事業を活用し、専門業者への調査を依頼する予定。

要望

国でも空き家や相続放棄地の対策は重要と考えており、最近では「空き家対策小委員会」という検討会が発足している。その中では「空き家」のことを「住宅ストック」と表現しており、「当たり前のように活用すべきもの」と認知されている。今後この考え方を持って進めていただきたい。

質問⑤

この計画は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にある「人口ビジョン」にも多大な影響を与えるものと考えている。この計画を進めた場合、区域内の人口は就業内容ベースで考えた場合にどのような変遷するとお考えか。

答 若宮町長

「立地適正化計画」はあくまで町内中心地の計画であるため、この計画ではそこまでの考えはない。しかし就業者数の維持は大事なので「人口ビジョン」の方でしっかり計画を立てていきたい。

要望

農村地をどうやって維持するかが今後の重要な課題であるため、そこをケアする計画を今後進めていっていただきたい。





とよ たか お 豊田 孝夫 議員

質問要旨

諸物価高騰の影響は肥料・農薬にも及ぶ中、それらの低減にもつながる耕畜連携は農家の経営改善への有効な手段と考える。農林水産省の「みどりの食料システム戦略」でも有機農業などの取組を推進しているが、町はどう考えているか。

◆農業における耕畜連携について

町長 必要性が増しており、活用できる取組の周知などに努める

体制などが整っておらず、取り組んでいる事業はない。堆肥活用事例は、町内では畜産農家による有機物資源活用センターを利用した堆肥の生産・販売、八戸連携中枢都市圏では肥料生産情報の提供があり、これらを広く周知することで推進したい。

質問③

みどりの食料システムを推進するために町の対策は。

答 若宮町長

国の交付金を活用し、「有機農業産地づくり推進緊急対策事業」を実施している。この事業は地域における有機農業の取組方針や生産及び加工、流通、消費の拡大などに向けた取組の支援を行う。また、「環境保全型農業直接支払交付金事業」を令和元年度から継続して行っている。

◆移住推進と遊休農地の活用について

町長 所有者が異なる空き家・農地のセット登録は要検討事項

質問要旨

移住推進には、「住居の提供」と「働く場所の提供」が必要と考える。空き家登録の住居と、遊休農地をセットで提供して就農を勧めてみてはいかがか。

質問②

令和元年度からの登録件数の推移は。

答 若宮町長

新規登録件数は、令和元年度6軒、2年度4軒、3年度5軒、4年度5軒。

質問③

空き家バンクに対しての問い合わせ件数、及び居住の成立した件数について、令和元年度からの推移はいかがか。

答 若宮町長

問い合わせ件数は、令和元年度1件、2年度8件、3年度10件、4年度7件。

質問①

現在の空き家バンクの登録件数は地域別に何件か。

答 若宮町長

登録数は令和4年12月現在、旧五戸地区4軒、川内地区3軒、倉石地区1軒の計8軒。

答 若宮町長

化学肥料の低減のため、畜産農家が産する堆肥の活用のため、耕畜連携の推進はどうかあるべきか。

町では地域の実態把握課題等の洗い出し、連携

質問②

以前、稲わらの有効活用のため稲作農家と畜産農家の連携を図る補助制度があったが、町独自で政策は考えていないか。

答 若宮町長

かつては「耕畜連携粗飼料増産対策事業」(H22年度～・県実施)があったが、現在同様の事業はない。町独自の施策も見



©東京ハイジ/五戸町



五戸町空き家バンクについて(町HPリンク)

質問④

働く場所の提供として、遊休農地と空き家をセットで登録して就農を促進するのも効果的と思うが。

答 若宮町長

農業をやってみたい人にとっては効果的と思える。農地付き空き家(同一所有者が空き家と農地をセットで登録したもの)は、令和元年度以降4件マッチングが成立している。

ただし、通常、農地譲渡には30アール以上の面積が必要という制限がある。農地付き空き家に限りこの制限を緩和したが、別所有者の農地の場合は制限があるため、農業委員会と協議し、検討する必要がある。

一般質問

◆五戸総合病院の医師不足と運営状況は

町長 医師確保に向けた取組を進める



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員



医師不足により外来診療に一部制限が生じた五戸総合病院

質問①

医師2名が退職し運営に支障を来すおそれがあると思うが、いかがか。

答 若宮町長

これまで当院へ医師派遣を行っていた弘前大学から「所属医師減少で小規模な病院への派遣が困難なため五戸総合病院への内科医師派遣を中止する」と通知があった。それを受け、私が直接大学を訪問し派遣の依頼をしたが、「数年前から他の病院への派遣も中止してきている。医師不足のため、残念だが派遣できない。」とのことだった。運営への支障については、現在内科・外科の外来診療を毎週金曜日休診

している。患者様や住民の皆様には大変ご不便とご心配をおかけしている。

質問②

医師の補充の見通しや、対策は。

答 若宮町長

残念ながら常勤医師確保の見通しはついていないが、内科・外科の非常勤医師を八戸市民病院などから派遣いただいている。他科を含め、色々なところから応援いただき診療を継続している。今後においても、町のホームページへの医師募集の掲載や、大きな病院への常勤医師派遣の依頼を継続し、医師確保に努めていく。また、将来当院の医師として勤務しようとする者への修学資金貸付事業や、地域医療の必要性の理解促進のための研修医の受け入れを実施しており、将来の医師確保につながることを期待している。

◆町内道路の整備状況は

町長 危険箇所から順次対応予定

質問①

県道五戸六戸線のこれからの舗装予定は。

答 若宮町長

県によると、狐森交差点から五戸小学校付近までを令和3年度までに施工し、残る県道橋向五戸線に接する所までの部分は、損傷具合による優先度を勘案し今年度は未着手となるが、令和5年度以降段階的に施工予定とのことである。

質問②

県道も含め町道に接する歩道整備計画はあるか。

答 若宮町長

県道の歩道整備計画は現在ないとのこと。町としては、歩行者等の安全性を考慮し、県へ整備を要望していく。

◆倉石温泉再開に向けて

質問①

倉石温泉の管理状況と、再開に向けての進捗状況は。

答 若宮町長

現在施設の管理は町が行っている。公募で今年2月に選定した契約締結交渉事業者とは、温泉再開に必要な改修工事が町が実施した後に管理運営を行うと取り決めていく。

質問③

電動車イス（シニアカー）使用者への対処は考えているか。

答 若宮町長

具体的な対処の考えは現在ないが、県道部分について県へ整備の要望をしつつ、町道部分は歩道整備計画と一体として検討していく。特に優先される危険箇所の修繕は、来年度からの着手を目指している。



11月末の履行期限で委託していた施設改修工事設計が納品され、今後は設計内容の精査と、町として改修する箇所及び工事予定額の確定を早期に行う。契約交渉事業者との改修工事内容の交渉や工事費予算化等多くのハードルがあるが、1日でも早い再開に向けて前向きに進めている。

県外行政調査研修

今後の町政の発展に資するため、10月に各常任委員会にて県外行政調査研修を実施しました。

総務常任委員会

参加委員 委員長 中川原賢治 副委員長 柏田 匡智
委員 和田 智也 委員 鈴木 隆也
委員 川村 浩昭

研修期間 令和4年10月19日～21日(3日間)

■視察案件①

「まちの賑わいづくり」

人口47,720人(R4.4.1現在)、面積94.19km²の菊川市は、静岡県西部に位置し、一級河川「菊川」の中流域に広がる市です。交通の利便性に恵まれ、新たな商業区域が形成されるなど、将来性豊かな地域です。

◆視察内容

菊川市が掲げる「コミュニティを核としたまちづくり」という目標のもとに行われている市民を中心とした「まちの賑わいづくり」と、それをサポートする菊川市市民協働センターの取組について視察しました。



市民協働センターがある「プラザきくる」は市民の集いの場、地域コミュニティ活動の拠点です。文化・健康・学びの交流活動、展覧会など幅広く活用されています。

市民協働センターは「出会いとつながりをデザイン」をモットーに、「地域で何かやってみよう」と活動を考えている市民と、行政・企業・学校などとのマッチングを支援しており、その取組を活用し、市民が主体的に活動していました。特に、地元高校2校の生徒が主体となった取組事例からは、若い世代の地元愛の醸成と人材育成にも寄与していると感じました。

■視察案件②

「住民の文化創造拠点」

人口241,565人(R4.4.1現在)、面積27.06km²の大和市は、神奈川県ほぼ中央部に位置し、充実した鉄道網と坂が少なく平坦な土地柄などから、通勤・買い物等の際の移動が容易で、暮らしやすい都市です。

◆視察内容

指定管理者による、図書館・芸術文化ホール・生涯学習センター・屋内子ども広場を有する文化複合施設「大和市文化創造拠点シリウス」の管理運営について視察しました。



来館者数が日本一の図書館と言われるシリウス。通常の図書館に留まらない市民のための様々な機能と、平日の日中でも多くの利用者が集まる様子を圧倒されました。

6社からなる指定管理者は毎月2回の管理運営会議によりイベント・講座等を頻繁に企画し、利用者拡大に努めていました。他にも「市民でつくる健康学部」という企画は、市民が講師となって詩や料理といった自分が得意な分野の講座を開催することで市民同士が学び合う場を創出していました。企業・市民の主体性で活性化している様子が伺えました。

県外行政調査研修

経済常任委員会

参加委員 副委員長 大久保和夫
委員 豊田 孝夫 委員 沢田 良一
委員 三浦専治郎

研修期間 令和4年10月19日～21日(3日間)

■視察案件①

「農業と観光の共存」

人口9,609人(R4.4.1現在)、面積676.78km²の美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置する町です。麦などの畑作農業が大きく営まれる一方、なだらかな丘陵地帯の風景を求めて観光客も多く訪れます。

◆視察内容

基幹産業である農業を守り育てながら、農地を景観の一部として観光資源に位置付けて観光業も盛り上げている、「農業と観光の共存」の取組について視察しました。



北海道
美瑛町



「ブラウマンの空庭」看板。写真撮影スポットに設置されていて、農地侵入を防ぎつつ観光案内にもなる、農業と観光の共存のための工夫です。



農業の振興には土壌診断、緑肥作付、耕畜連携の取組への助成など「土づくり」を重視した政策が行われていました。また、観光客の農地侵入による荒地化等の防止策として、観光マナーの紹介、観光協会による観光案内・パトロール、撮影スポット看板など、共存のための多くの工夫が見られました。

■視察案件②

「鳥獣被害対策とジビエの活用」

人口1,676人(R4.4.1現在)、面積101.83km²の浦臼町は、北海道の中西部、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、2大都市間移動の際の拠点であり、稲作・ワイン用ぶどうの生産が盛んな町です。

◆視察内容

北海道内で長年問題となっているエゾシカによる農林業への被害の現状と、その対策としての駆除等の取組、及びそのエゾシカ肉を特産品として活用する取組について視察しました。



北海道
浦臼町



稼働から4年目となる浦臼町ジビエ処理加工センター。昨年は、当初計画目標の約2倍となる約1,500頭を受け入れたそうです。



浦臼町は被害に悩んでいたエゾシカの肉で特産品を開発しようと計画したことを契機に、国の事業を活用してジビエ処理加工センターを建設しました。経費をかけて処分していた肉の活用方法を見出すことで、狩猟者のモチベーション向上と農林業の被害軽減、商業の発展につながっていました。

県外行政調査研修

民生常任委員会

参加委員 委員長 大沢 義之 副委員長 三浦 俊哉
委員 川崎 七洋 委員 尾形 裕之
委員 松山 泰治

研修期間 令和4年10月27日～29日(3日間)

■視察案件①

「手話の理解促進及び普及」

人口24,418人(R4.4.1現在)、面積372.34km²の那須町は、栃木県最北端に位置する町で、那須温泉郷と呼ばれる観光名所を有するほか、農業・林業・石材業の町としても発展を続けています。

◆視察内容

那須町手話言語条例に関して、手話に対する理解促進と手話の普及のための取組について視察しました。



担当者に加えて議員の方々も同席され、意見交換も行いました

那須町は、令和4年4月から条例を施行した五戸町より1年早く施行しており、手話普及のためのパンフレット作成や、手話奉仕員の養成講座の開催などの取組の内容・成果について伺うことができました。



栃木県
那須町

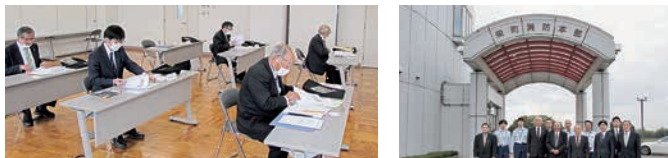
■視察案件②

「消防団の維持と活動環境向上」

人口20,001人(R4.4.1現在)、面積32.51km²の栄町は、千葉県北部、利根川流域に位置する町で、広く田畑がある一方で、近年JR安食駅を中心に首都圏近郊の住宅地区としての変化も見えます。

◆視察内容

消防団員数確保が困難な中、団の維持と団員の活動環境向上のための消防団再編計画の取組について視察しました。



再編への賛否様々な見をすり合わせて進めているとのこと 広域ではなく町単独で消防本部を有する栄町

消防団の再編は分団等の統合と管轄範囲見直して団員数の確保や団員1人当たりの負担軽減等を図るものだが、団員・住民との十分な話し合いや新規団員確保策も必要であるというお話を伺うことができました。



千葉県
栄町

■視察案件③

「地域で取り組む健康づくり」

人口8,446人(R4.4.1現在)、面積129.87km²の大多喜町は、千葉県房総半島のほぼ中央に位置し、戦国時代から城下町として栄え、温泉地の養老溪谷を有するなど、城と溪谷の町となっています。

◆視察内容

地域で取り組む健康づくりを推進する「おおたき健康まちづくりプラン」の取組を視察しました。



大多喜町のオリジナル体操を元気に練習する様子 私たちも体験してみました

町の講習を受けたボランティアメンバーが地域住民の集まりに訪問し、体操を教えて体を動かしてもらう取組をしており、当日はその講習を見学させていただきました。



千葉県
大多喜町

所管事務調査

町政の課題把握・解決に向けて、各常任委員会が管轄する分野の取組についての調査を行いました。

総務常任委員会

委員長 中川原賢治
委員 和田 智也

副委員長 柏田 匡智
委員 鈴木 隆也 委員 川村 浩昭

令和4年10月5日実施

◆(公財)五戸町スポーツ振興公社の現状を調査

ひばり野公園、五戸ドーム等に加え、今年度から指定管理となったみらいパーク、小渡平公園の施設等管理状況について説明いただきました。コロナ禍、少子化の影響を受ける利用者数の推移や、高騰する資材・光熱水費が懸念事項です。

◆ふるさとの家(倉石地区旧大久保家)の調査

倉石又重にある古民家を活用した「ふるさとの家」の管理状況についてお話を伺いました。

保存会の方々が清掃等を行って管理しつつ、毎週土曜日の定期的な一般開放と、不定期開催の各種イベントなどに活用されています。



五戸町スポーツクラブの状況についても伺いました



お話会やバザーなども開かれる「ふるさとの家」

経済常任委員会

副委員長 大久保和夫
委員 豊田 孝夫

委員 沢田 良一 委員 三浦専治郎

令和4年10月28日実施

◆中山間地域総合整備事業と農地中間管理機構関連農地整備事業を調査

中山間地域の農道や農業用排水等の整備事業における上市川善浪前谷地・切谷内下蛇沢の集落道の整備状況と、担い手への農地集積を進めるための切谷内下平谷地地区ほ場の基盤整備状況を視察しました。

◆町有林維持修繕工事を調査

令和4年7月の大雨により土砂崩れが起きた倉石又重後田内沢の町有林を視察しました。土砂・倒木の影響を受けた水路の復旧工事について伺いました。

◆ひばり野公園関連工事とひばり野分譲地を調査

ひばり野公園のトイレ新築工事と遊具整備工事、ひばり野分譲地環境整備工事の概要や進捗状況について、現地でお話を伺いました。



建設整備課、農林課、都市計画課と現地視察を行いました



民生常任委員会

委員長 大沢 義之
委員 川崎 七洋

副委員長 三浦 俊哉
委員 尾形 裕之 委員 松山 泰治

令和4年11月9日実施

◆介護予防の取組を調査

要介護状態になることを予防する取組について、介護予防教室「脳わくわく教室」を視察しました。理学療法士等も講師として参加する充実した内容で、少子高齢化が進行する現在において、高齢者自身の生活機能の維持改善につながる重要な取組です。

◆五戸町健診センターの取組を調査

五戸総合病院にある五戸町健診センターの事業状況について視察しました。センターが行っている健診や受診者数の推移、最近の取組など

の説明を受け、昨年度は胃カメラ検査開始、今年度はインターネット受付開始など受診率向上に取り組んでいました。



五戸町の介護予防教室の様子この日は口腔ケア講話でした



五戸町健診センターの設備も見せていただきました

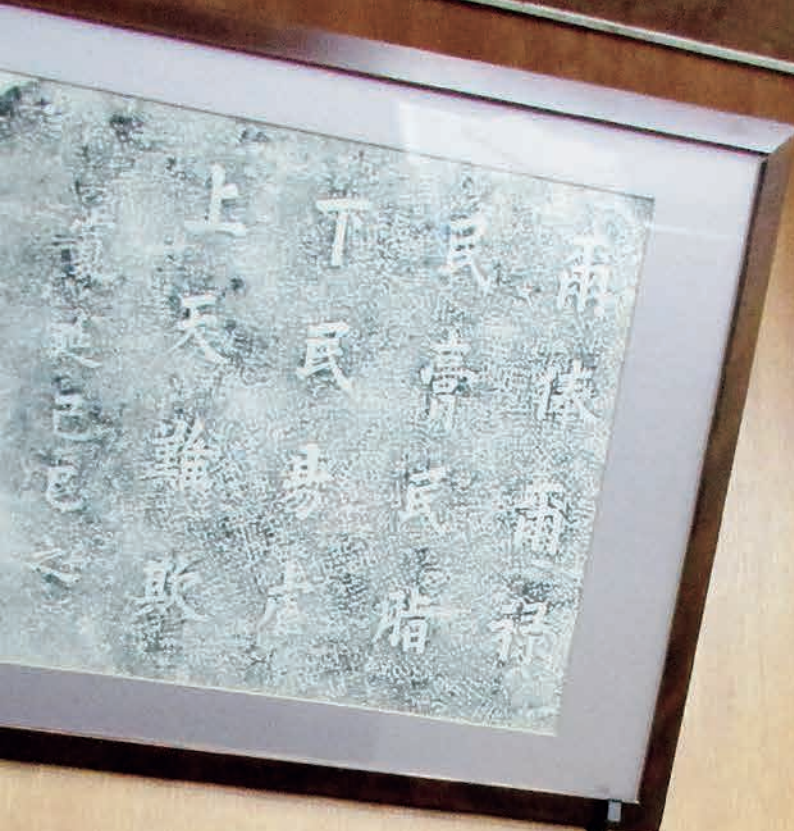
三浦俊哉議員

生年月日:昭和17年8月30日(80歳)

担当委員会:議会運営委員会(委員長)

民生常任委員会(副委員長)

当選回数:10回



●議員インタビュー
町民の皆様は議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎月1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。
今回は議会運営委員会の委員長を務める「三浦俊哉」議員へのインタビューです。
「インタビュー」..
広報常任委員長 川崎七洋

Q 本日はよろしくお願
いします。

A 三浦俊哉 議員
よろしくお願いま
す。毎号大変ですね。
若い方が頑張っていていら
して大変素晴らしいと思
います。

Q 助け合いの精神が
本心に素晴らしいと
思います。普段は新聞
のお仕事をされている
のですね。

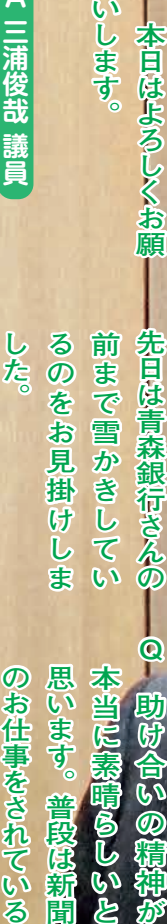
A 三浦俊哉 議員
先日は青森銀行さんの
前まで雪かきしてい
るのをお見掛けしま
した。

A 三浦俊哉 議員
高齢になりましたので
仕事というほどはない
ですが、手伝いくらいに
はなっていると思います。

Q ありがとうございます
。三浦議員も日々
お仕事がある中で議員
活動や地域の活動など
を精力的にされていて
凄いなと思っています。

A 三浦俊哉 議員
私が家業の新聞屋さん
の手伝いをしているもの
ですから、配達員さんの
ように仕事で出歩く方
にとって雪がどれだけ大
変か、よく分かっている
つもりですので、やっぱり
助け合っていないかと。

A 三浦俊哉 議員
新聞業界は朝1時とかに
その日の新聞が届いて、
朝2時3時に配達員さん
が来て配達に出ますので、
その間の作業が大変なの



議員インタビュー



ご家族が新聞業を営んでいる三浦議員
本人も日々サポートしています

です。雪かきもこの時にやっています。転んで怪我することもありますが、事前にしつかりとやっておかないと。

Q 人々の生活を支えるお仕事ですから本当に大変な家業をされていると思います。

三浦議員のそういった思いやりは議員活動の中からでも感じることはありませんが、議員になったきっかけは何だったのでしょうか。

A 三浦俊哉 議員

私の父が議員だったのですが、怪我で引退することになりました。その時に指名されてやることになったのが最初です。ですが議員になる前から議会に行くことはあって、写真(右ページ)に写っている額縁は父が寄贈したのですがこれを当時の議長さんにお渡しした時に私も同行していました。

Q 今回初めて読みました、この漢詩は素晴らしい内容ですね。

「下民易虐」(権力の弱い人民を虐げるのは簡単だが)

「上天難欺」(天はずべてを見ていて欺くことはできない)

A 三浦俊哉 議員

だから悪いことはせず、しっかり人民と向き合いなさいということですね。権力者というか、公務員が持つべき心構えというもののようです。議室にこれが飾ってあるのも、自身に対する戒めの意味でしょうね。

Q この志を持ちながら10期も議員をやられているのは私たち若手議員から見ても道標であると感じています。



上大町自治会長としても精力的に活動しています(写真は五戸まつりでの様子)

A 三浦俊哉 議員

いえいえ、若い方にはないかもしれませんから、これからどんどん頑張りたいと思います。少子化が進む中で私たち高齢者はどんどんいなくなっていくますから、新しい感性で世の中をひっぱって行ってほしいです。

Q 三浦議員も若いころに様々頑張っていたらとお話を聞いています。

A 三浦俊哉 議員

昔は町の広報誌や、議会だよりなんてものはありませんでした。そこで最初に「こういうものが必要なんじゃないか」と訴えたのが私たちでしたね。当時はまだどの自治体も腰が重くて、実現したのはもっとずっと後になってからでしたけれど、議会の中の話でちゃんと町民の皆様にお知らせするのは非常に大事なことだという思いはずっとありました。

Q 目の前の「当たり前」は、過去に頑張った人がいるから存在するのだ、ということですね。

A 三浦俊哉 議員

南部鉄道もそうですね。十勝沖地震を乗り越えた先人の頑張りで今はバスになって助けられている。町の人口は1万6千人を割るところまで減っていて、大変な状況です。人が減るということは職場も学校もお店も減っていく。課題は沢山ある。何にしても、今までと同じことをやるだけではいけない。新しいことにチャレンジしなければいけないし、それができるのは若い人だと思う。行政はそういった若い人の挑戦を、失敗のケアも含めてサポートしなければならぬのではないかな。

ありがとうございます。今後の活躍を期待しています。(了)

三戸郡町村議会議員研修会

令和4年10月18日、新郷村において三戸郡内の町村議会議員が集まる三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は13人が出席しました。

講演 「人生、悔りがたし」 **講師** 新郷村教育振興協議会 会長 福山 廣 氏



正副議長・事務局長研修会

令和4年10月25日、青森県町村議会議長会の正副議長・事務局長研修会に五戸町議会から、議長、副議長、各常任委員会委員長等7名が出席しました。

講演 「地方自治の重要性とわが郷土について」 **講師** 前衆議院議長 大島 理森 氏



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年はいまだ続くコロナ禍、止まぬ戦火、物価高など暗い話題が多かったですが、五戸町においては文化、スポーツ、経済活動など町民皆様の活躍が地元紙に多く取り上げられ、希望と勇気をいただきました。困難な時ほど、人と人とのつながり、地域の輪や行事を継続していくことの大切さを強く感じた一年であったと思います。

今年の卯年は「飛躍」や「向上」の年とされ、飛ぶためには培ってきたものが試される年でもあるといわれます。多くの希望をもつて、町民の皆様と飛び立つことができるような五戸町議会、議会だよりに努めてまいりますので、本年もよろしくお祈り致します。

委員 柏田 匡智

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月7日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和5年4月発行予定です。

発行責任者
議長 三浦 專治郎
令和5年1月27日発行

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
大久保 和夫	鈴木 隆也	柏田 匡智	和田 智也	和田 孝夫	豊田 孝夫	川崎 七洋

広報常任委員会